



服を着るということは日常生活において欠かせないことで、服と私たちの生活は非常に密着しているということが分かります。

ファッションというのは何よりもその人の個性が顕著に表れるものだと思います。流行の服を着るということは良いことだと思いますが、みんながみんな同じ服を着ていては個性がなくなってしまうと思います。流行を取り入れつつ、他の人とは違ったアレンジを少し加えることで、自分の個性を出していけるのではないかと思います。そこで私から図書館にある本を二冊紹介したいと思います。

まずファッションに迷った人に『日本のファッション：明治・大正・昭和・平成』という本をおすすめします。“流行は時代を回る”という言葉をよく耳にしますが、この本は過去から現代へのファッションの移り変わり、また流行がその時代でプラスされながら回っていることを見ることができます。この一冊でファッションの背景を見ながら、コーディネートを学ぶことができますと思います。

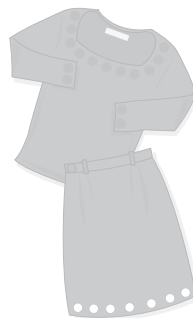
二冊目は『パリジェンヌ流着やセスタイリング』という本です。女性ならばどのような服を着たらスタイルが良く見えるのか？など気にする方もたくさんいると思います。また男女問わず、服を上手に着こなして格好よく見られたい！など願望があると思います。この本はアウターやパンツの着方から、ファッション小物やアクセサリといったアイテムの使い方また巻

末についているヘアアレンジ講座でメイクなどについても学べる内容になっています。服のサイズはしっかりと自分に合ったものを選ぶことが重要だと分かりました。またベルトラインを少し変えるだけで腰の位置が高くみえたり、カットソーを着ることにより、おなか・二の腕などの部分やせができるなど、新たに学ぶこともたくさんありますのでとても充実した見応えになっていると思います。

季節によって身に着けるアイテムや色合いが変わるファッションというのは奥が深くコーディネートが難しく思えるかもしれませんが、私自身もこの本を読んでいろいろなファッションに挑戦しようと思いました。自分に合ったお気に入りの服を着て過ごせたら、毎日がとても楽しくなると思います！！

### おすすめ文献

1. 城一夫、渡辺明日香、渡辺直樹 著  
『日本のファッション：明治・大正・昭和・平成』  
(青幻舎)  
383.1 || Niho  
資料ID：595510
2. 米澤よう子 著  
『パリジェンヌ流着やセスタイリング』  
(幻冬舎)  
589.2 || Yon  
資料ID：578185



てらだ ちひろ (ドイツ語学科4年次生)